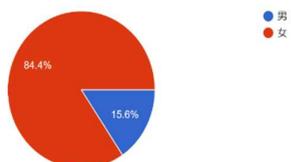
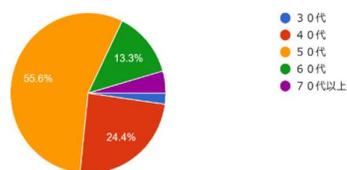


R5年3月12日 事例研究発表アンケート結果報告 (参加者57名 回答者45名)

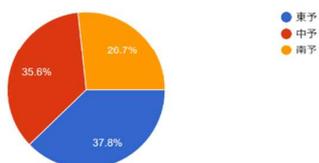
性別
45件の回答



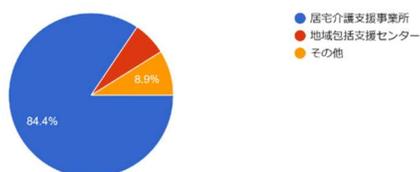
45件の回答



地域
45件の回答



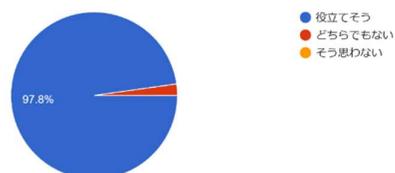
事業所
45件の回答



今回の研修の感想をお聞かせください
45件の回答



今回の研修を経て、今後の実務に役立てそうですか？
45件の回答



上記と答えた理由を教えてください。(44 件の回答)

- ・事例検討の流れが分かった
- ・相談する所の再確認ができた。本人家族へ寄り添うことの大切さを学んだ。
- ・発表された事例については、多少に関わらず担当ケースに近いものがあり、支援方法について参考になりました。
- ・連携の仕方や、理論などの活用、とても参考になりました。
どの事例もケアマネ業務を続ける間に経験するものだと思います。支援の予想にも役立つのではないかと思います。
- ・看取りを行う上での変化を気付かれるなど人の機微を感じるなど大切なことだと思いました。また、知人の金銭管理ほど大変なことはなく、本人の意思決定が重要であることがわかる事例だったと思います。参考にさせていただきます。
- ・マズローの欲求段階を振り返りや医師に立ち向かう介護支援専門員の専門性を再確認できた。
- ・同じような事例に当てはめ、参考にできる
- ・様々な事例内容や介入方法などがあることが分かった。また、相談援助技術・情報共有は重要である。
- ・意志決定支援や、家族を含めた支援、看取りの支援等自身の事例の振り返りや新たな視点等参考になる点が多かった。
- ・自分がケース対応に悩んだ時に、アプローチ方法等、色々参考にさせていただくことができると思いました。
- ・事例を分析研究した発表内容は、要因や理由などが言語化され、自分の事例に照らし合わせる時にとても参考になる。
- ・いろんな事例の発表を聞くことができました。みなさん、全力で取り組んで、活用できるものを活用したり、工夫したり、大変勉強になりました。
- ・事例の研究発表は今後自分が関わって支援時のヒントになると思います。
- ・身寄りのない方の支援が増えてきていると感じています。包括支援センター等への相談や成年後見制度の説明等随時行っていますが、実際のところ私自身がよくわかっていないと思っています。確かにCM 業務の範囲ではありませんが、ご利用者に寄り添う上で必要なことでもあると思っています。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・最後の白石さんの発表は、特に参考になりました。
- ・他のケアマネが支援している苦労やどう対処しているのか 他事業所との連携や家族との関わりなどがよく理解できたため自分も普段から意識することができると感じたため。
- ・思い悩みながら進行中の事例と同じような事例研究がありました。発表を聴かせていただくことで、こういう方法があるんだと、視界が明るくなりました。私は、まだまだだと思っています。

・ケアマネが軸となって利用者さんの生活を支える。そのために自分が何をすべきかよく考えながら行動することが大事だと思った。いろんなケースを聞くことで自分もまだまだ頑張らないといけないと意欲を持つことができた。

・実践に基づいた研究で、根拠ある支援に繋がると考えられるため。

・よく似た事例と、まだであったこと内の事例があったが、自分にはない切り口や、考察の仕方があったので取り入れたい。

・発表された方の関わり方を聞かせてもらった事で、視点を変えて関わってみようと思いました。

・自身の支援を振り返った時に、ただ単にまとめるだけでなく今回のようにマズローの欲求段階説や地域で暮らしていくための5つの問題点等参考文献から探してきて支援の振り返りを行うこともできるというのを学べてよかったです。

・ここまで大変なケースは経験していませんが、今回の研修でケアマネの行う支援とは何か？を深く考える機会が持てました。もっと視野を広げて、柔軟なチームケアを実践しようと思いました。

・困り事があった時には一人で抱え込まずに他からの助言や提案も聞きながらチームでより良い支援ができる様に努力していく様にしたいと思います。

・本人の思いに寄り添って支援を行っていますが、本人の希望に沿った支援ではいい方向に行っていない困難事例があり、今回の発表の中では、ヒントをえられなかった。

・ケアマネジャーの役割や、家族との関わり方など実体験を聞いた中で、ぜひ参考にさせていただきたい支援方法がたくさんあり、勉強になりました。

・独居高齢者の支援・財産管理、ターミナルケアの支援、住み替え・経済的な問題、ACP、精神疾患や共依存等、本日発表していただいたケースは、自分や同僚が抱えるケースと重なることも多く、皆さんの支援がとても参考になりました。事例研究ということで、支援を振り返り、文字化して整理される作業は大変だったと思いますが、とても勉強になりました。日頃時間に終わり、焦ってサービス調整することがあったり、スピードが必要なケースがあったりと、なかなか見極めも大変です。支援者間ではどうにかして調整したい課題があっても、きっかけがなければ調整できないことも多いです。そのタイミングを逃さず、利用者や家族、関係者が納得できる支援のタイミングを待ったり、逃さないようにしたいと思います。また、ケースの全体を冷静に見て調整された発表者の方たちの支援を参考に、自分が担当している方の支援を考えていきたいと思えます。ありがとうございました。

・介護者の葛藤と現実を知り、支援の難しさを感じました。家族の介護力やインフォーマルを取り入れ、本人の思いを尊重しながら支援していきたい。

・今後看取りや困難事例に生かせる事が出来るようにするために、大変参考になりました。

看取りについてや施設入所における意思決定支援の考え方が深まりました。ありがとうございました。

・他のケアマネの実践が、参考になった

・似たような事例があるので、今の事例を振り返って役立てていきたい。

- ・今後は、今までとは違った考え方でもアプローチできそうと思ったから
- ・新たな発見がありました
- ・利用者の支援に自信をもって支援していく為に勉強になりました
- ・普段自分なりに業務をしているだけで皆の支援や葛藤を聞いてためになりました。
- ・成年後見人制度について、自身が無かった。今回の事例検討により、どんな機関に相談すればよいのか。または対象者へのかかわり方でケアマネの提案の持って行き方の方法などが大変参考になりました。
- ・利用者本人や家族へのアプローチの方法や、様々な制度を知る機会となりました。
- ・課題がたくさんあって心が折れそうな事例ばかりですが、どの事例も丁寧に向きあっていらっしやっていて見習いたいと感じた。
- ・5事例ともに興味深い内容でした。ケアマネとしてどこまで関わるべきかを悩むケースも増えています。相談するタイミングや関係機関を把握しておくことが大事だと学びました。
- ・独居の方が多くなってきている現状があり、現場で対応した経験を聞かせていただくことは大変参考になります。法律が絡むと後々問題になることがあり避けたいことです。知っていれば専門家にまず相談することができると思うのです。ご利用者にもご負担を掛けずに済むと思えました。
- ・感覚的に行っている支援を振り返るきっかけとなりました。
- ・今後似たような事例があった場合に、今回参加し勉強させていただいたことを思い出し、参考にさせていただきたいと思います。

今回の研修で気づいたことを教えてください。(43件の回答)

- ・意思確認の大事さ
- ・私が体験したことのない事例があったので今後の支援に役立てたい。
- ・日々、感覚的な支援になっていますが、文字化したり、文献と照らし合わせる事で、支援について自信が持てるようになっていきます。
- ・特に、身寄りのない人の支援、金銭管理等について、あらためて考えさせられました。会場でも質問はし辛いですが、画面でもし難いものでした。コミュニケーションや本人の意思決定など意向を伺うことがいつも思いますが重要だと再度理解しました。
- ・エビデンスに基づく支援を行うには看護研究で文献を振り返ったりすることがとても大切なことだと改めて考えることができました。
- ・ケアマネの経験や力量の違いはあると思うが、一つ一つ丁寧に関わっていくことを心掛けたいと思った。
- ・その人、その家族、取り巻く環境の舵を取っているということが再認識できた。

・今まではマズローの欲求 5 段階説を参考に事例をまとめたことがなかったため、視点として参考になった。

・終結したケースを振り返ることは、今後の支援に活かせると言うことを改めて感じることができました。ありがとうございました。

・根拠ある支援を行うために、参考文献など興味深かった。

・本人、介護者の意向を大切に信頼関係を築くことが大切と気づきました

・残された財産の対応。マズローの欲求段階(具体的によくわかりました)。

・普段の業務は感覚的に行っていることが多いですが、事例検討会や更新等研修に参加する度、文字にし整理することで事例を客観的に振り返ることができると感じています。文献と支援の実際を考察していく過程は大変だったと思いますが、有意義なことだと感じました。ありがとうございました。

・困難事例の解決にケースは異なりますが、参考になります。

・本人や家族の希望や要望よりも事業所の都合が優先されていないか？医師のプライドや医療での都合が優先されていないか気付かされた。独居の方には早めの遺言状や死後の希望を聞いておく。医師の判断は何度も話し合い説得を続けることで動かすことができる事。「マズローの欲求段階」など普段は気に留めずに支援を行っているが土台を整備することで自己実現ができるという事。自宅にこだわらなくても高齢者住宅にて馴染みの関係者が関わることで本人の希望は叶うという事。介護者は母親だが家族(長女)の母親に認められたいという気持ちを汲みねぎらいや声掛けが必要だという事。在宅での看取りに自信がなかった妻も関わることで自信や安心感に帰ることができ満足感や安堵感で自宅で看取りができるという事。皆さんの発表でそれぞれ気付いたことがあります。発表やまとめ ご苦労様でした。そしてありがとうございました。

・身寄りのない方や疎遠の方に、市町に生前から死後、どうすればいいかと相談できる場所がある。確認すること。相談に行っても思うような回答がでない場合もあります。しかし、何度も相談に行くことで、見えてくるものがある。諦めない。医師との連携は、緊張します。ご本人様、ご家族様、チームの思いは、しっかりと伝えていくことの大切さをあらためて、心に刻みます。ご本人様はもちろんのこと、家族支援の大切さ。入所後も家族支援の継続。

・自分の事例を振り返り考えることでケアマネジメントの力をつけることができるのだと感じた。

・皆さんの苦労が、伝わりました。どの事例も良かったです。お疲れ様でした。ただ、自分も含めて、質問などが少なかったのが残念でした。

・普段は通常の業務として、感覚や経験で行っていることを、細かく振り返り研究することで、なぜこうなったかこう提案したかを、より他者に伝えることができると思った。A4 用紙 1 枚にいかん盛り込み、スライドや発表の方法は受講側は分かりやすかったが、まとめるのは難しいことだと感じ、現場に追われるだけでなく、もっと知識や研修に参加する必要性に改めて気づきました。

・自分だけでなく、ほかのケアマネの方々も同じよう事例を抱えているんだなと思いました。

- ・6名の発表者の方々、本当にお疲れさまでした。事例を言語化して実践したことを意味づけていただくことで、私たちケアマネの「知」につながっていきます。ありがとうございました。
 - ・ケアマネがかける言葉には、とても大きな影響力があるんだなと感じました。ケアマネ個人では限界かもしれないことも、それぞれの特性を活かすことで、困難な事案も動かすことができるんだと思いました。
 - ・本人・ご家族の意向や希望をその都度確認しながら、関係者が同じ方向を向いて支援を行う事で、本人やご家族の希望に寄り添えたり、関係者の満足度に繋げる事が出来るのだと思いました。
 - ・今回、自宅でオンライン研修を受けましたが、zoomの使い方がなかなか分からず、ご迷惑をおかけしてすいませんでした。やはり、研修は会場で受ける方が、緊張感もあり学べたと言う、実感が湧くように感じております。発表者の皆さん、日々の激務の中で、しっかりわかりやすく事例をまとめられていたと思います。困難事例が多く、本人と支援者の考え方のギャップが大きく、もうあなたの人生だから好きにして!と投げやりになることがあります。こういった事例発表を聞くだけでまた、利用者との関わり方を変えてみようと言うきになりました。
 - ・発表者の皆さんの発表が聞きやすく、長時間の研修でしたが、あっという間に終わりました。お疲れ様でした。
 - ・介護保険では対応出来ない支援があり、いろんな方の努力がなくては利用者の生活を守ることは難しいと感じました。
 - ・発表者の皆様から熱意が伝わり、大変有意義な研修でした。一人暮らしの身寄りのない利用者には、死後の事まで聞いておく必要があると思いました。文献等参考にされているので紐解いていきたいと思います。
 - ・金銭面の困りごとについて話が出ていましたが、私もよく考えさせられる事例に関わることがあります。今後も、社会福祉協議会への相談もしていきたいと思います。
 - ・振り返り、分析の大切さ
 - ・いろいろな事例に、積極的に関わっていきたい。
- 感覚ではなく、理論立てて考えていく事が大事だと気付けた
- ・マズロー5段階説を実践で段階ごとに展開されていた。
 - ・利用者の思いと支援する側の思いに一生懸命寄り添って、後悔のない支援が出来ていると感じました
 - ・やはり自分が行った支援に対して振り返りが重要で、分析をしないといけないと強く感じました。
 - ・看取りの場合に医療との連携の中で、医師との相談が正直苦手でした。今回の事例で対象者の様子を積極的に聞きとり、家族とのコミュニケーションをしていく中でチームケアの確立をしていきたいと思います。
 - ・介護保険以外での関りが増え、ケアマネも分野を超えての知識習得が必要だと痛感しました。

- ・本人や家族の意向を確認して、一人で抱え込まず各専門職と連携をこまめに図る事が大切だと思った。
- ・振り返りを行うことで、できたことできなかったことが明確になり、次の支援に活かすことができることを再認識しました。
- ・ご利用者及びご家族との対応が多様化しており、難しくなっていくのかなと思いました。介護支援専門員の判断力や知識が問われる部分が多くなってくるのでしょうか。
- ・本人やご家族へのねぎらい、言葉がけとチームケアの大切さ
- ・心のある支援、適切なタイミングで必要な支援を行うことが大切だと思いました。

今後、全体アンケートで知りたい内容や参加してみたい研修のテーマを教えてください。(23 件の回答)

- ・プラン作成
- ・医療との連携について
- ・今回の研究発表に参加し改めて、意思決定支援についての研修に参加してみたい。
- ・本日の研修で出てきた「ACP」支援。相談業務であり心理学的なことも学んでみたい。
- ・意思決定支援について、ICT、DX化について
- ・改正関連に関連した物があれば参加させていただきたいです。
- ・医療度の高い方の支援について(ALS、末期がん、気管切開等・・・)、支援者のいない独居の方の支援について
- ・人生会議について 高齢者虐待防止について
- ・本人へのアセスメントと現実とが真逆であり、まるで探偵か刑事か弁護士でなければ対応しづらいようなケースに出くわしております。困難事例発表会があれば参加したいです。
- ・災害時個別避難計画書作成について
- ・ケアマネ業務の効率化に向けて取り組んでいること
- ・独居の方や障害もたれた家族と生活している方に対しての、成年後見人制度利用へのつながり方。
- ・看取り支援の研修に参加してみたいです。
- ・障害者が65歳になった時
- ・地域によたら十分なサービスの利用ができないことも多くあります。必要な支援をどう補っていか考えないといけないこともあります。その事例など聞けたらと思います。
- ・各地域ならではの取り組みやサービスについて
- ・ケアマネジメント手法
- ・日常業務に直接、役立つ研修を今後も受けて勉強していきたい

- ・2024制度改正があり、重要事項や契約書変更や体制など考えないといけません。そのあたりの研修を3月頭にさせていただきたいです。
- ・生活保護受給者又は、金銭問題(サービス事業所への滞納)へのケアマネジメントの方法
- ・まん延防止や、虐待防止などの取り組みについての研修など、参加したいと思います。
- 後見人制度など詳しく教えていただければと思います。

その他：県協会へのご意見・ご希望など（18件の回答）

- ・お疲れ様でした。
- ・ホームページで研修等のお知らせはなるべく早くお願いしたいと思っております。
- ・たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- ・お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・いつもお世話ばかりかけて恐縮です。お疲れさまでした。
- ・いつも本当に貴重な研修を開催してくださり、ありがとうございます。
- ・とても有意義な研修でした。ありがとうございました。
- ・運営、ご苦労さまでした。
- ・毎回、実践に役立つ研修の開催をありがとうございます。明日から、また頑張ろうという意欲が出ました。お疲れ様でした。
- ・身のある研修を開催していただきありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。
- ・本日は、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・いつもお世話になります。今後も ZOOM での開催をして下さると参加しやすいです。ありがとうございました。
- ・いつもためになる研修企画ありがとうございます。お疲れ様です。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございます
- ・研修を企画頂き、ありがとうございます。

アンケートのご協力ありがとうございました。
皆様のご意見を参考にさせていただきます。